



# ジャコブ号

～認知症特集号～

第138号

発行日：平成27年7月1日

発行者：福田脳神経外科病院

院内情報委員会

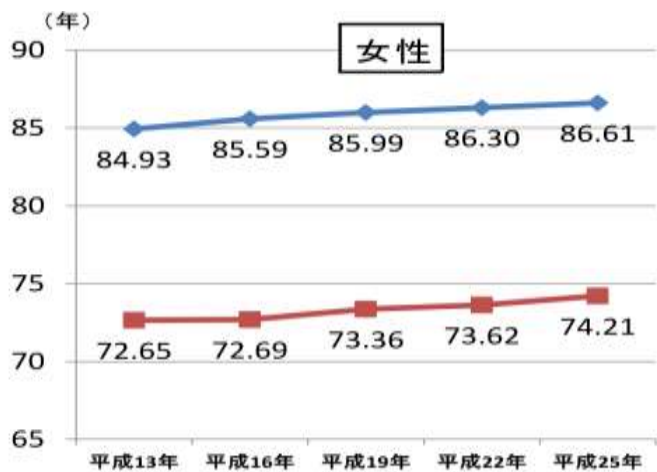
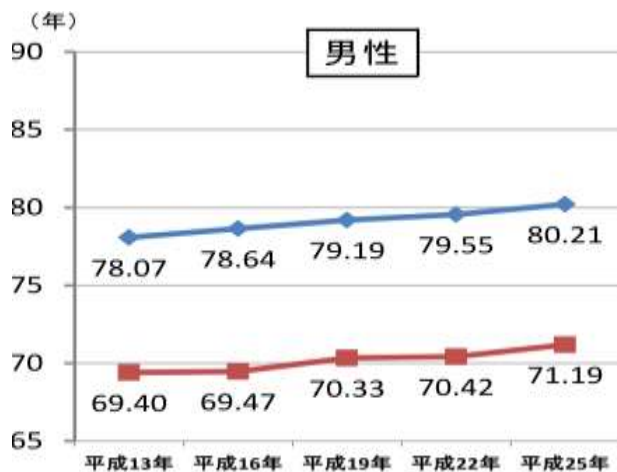
(☎0952-29-2223)

## 診察室から 認知症



～認知症対策は健康寿命の延長に繋がる～

院長 田口 明



【資料】平均寿命：平成13・16・19・25年は、厚生労働省「簡易生命表」、平成22年は「完全生命表」

上のグラフで青線が平均寿命を表し、女性も男性も80歳を超えて長寿社会になりました。その下の赤線は健康寿命を表し、青線と赤線の間約10年の差があります。この差は寝たきりや介護を受けながらの生活期間を意味します。将来的にこの差がさらに拡大する可能性があることが危惧されており、その原因の一つが認知症患者の増加です。長寿は大変喜ばしいことですが、このグラフに見られる変化と今後の予測からは単純に喜べない現実が垣間見えます。

① 認知症患者は増加する。しかし介護などの患者を支援する人間が減少する。

現在我が国には約462万人の認知症患者がいると2013年10月の時点で報告がありました。今後も更に高齢化が進み、それと共に認知症患者も増加し、2025年には700万人を超えると予想されています。人口減少、少子化の流れは相変わらず

ずで、今後増加する認知症患者を介護する人間が減少する現実を考えると誰もがこの先とても不安な気持ちになります。



## ② 新しい認知症がわかってきた。(今までにもあったが気が付いていなかった)

認知症は脳の病気で原因の約 60%をアルツハイマー型認知症が占めているといわれております。しかし原因がアルツハイマーのみではなく、脳血管性認知症やほかの認知症が併存している場合もあります。数年前からレビー小体型認知症という疾患が診断技術の進歩によりわかってきました。この認知症の特徴はアルツハイマー型と異なり物忘れが最初の症状ではなく、いないはずの人や虫などが見えるといった幻視や動作が鈍くなるなどの症状から始まります。また認知症症状がひどい時と、まったくなく正常に見える時があるなど、認知機能に変動があることが大きな特徴です。この病気を発見した先生は「レビー小体型は、認知症らしくない疾患で、うつ病や統合失調症や老年期精神病、アルツハイマー型などと誤診されるケースがあり注意が必要です」と述べておられます。

### \*認知症予防に最も大事な 4つの要素\*

#### 食生活

野菜、魚、果物を  
中心とした食事



#### 運動

一日30分以上の  
運動



#### 生活習慣

たばこ・酒・  
夜更かしをやめ、  
規則正しい生活を



#### 頭を使う

脳トレ・ゲーム・  
絵画・園芸など



# あなたの地域におじゃまします

## ～本庄町 袋 袋老人会様編～

外来師長 松永 智子

4月25日、本庄町袋老人会様におじゃましました。

認知症の種類と特徴についてお話しさせていただき、ご自身に認知症の可能性がないか、自己チェックリストに沿って診断をさせていただきましたが、皆様から活発にご意見やご質問を頂くことができ、とても活気ある会となりました。



袋老人会様は、比較的年齢の若い60代の方々が、会を盛り上げていらっしゃる



との事で、当日も、男性の方が熱心に参加して下さいましたことが印象に残っています。袋老人会の皆様、ありがとうございました。

### 自己診断してみましょう！！

- 1 以前に比べて、なじみのない人と話したり、なじみのない場所に行ったりすると疲れやすい。
- 2 ぼんやりすることが多くなった。もしくは、周りの人にぼんやりしていると言われる。
- 3 階段や段差で足がもつれたり、踏み外したりしてしまう。
- 4 些細なことでイライラしたり、落ち込んだりしてしまう。
- 5 普段の会話やテレビ・映画のセリフが早く感じ、ついていけない。

今春より、当院のMRI機械の撮影内容が一部リニューアルし、これまでよりもより細かく、認知症の画像診断ができるようになりました

日常生活の中で、「あれ？私、認知症？」と思うようなこと、

ちょっとした出来事や不安、上記に当てはまることなどありましたら

“検査をお勧めしています”

外来看護師へお気軽にご相談ください。

外来看護師 松永 古川 尾形  
中島 毛利



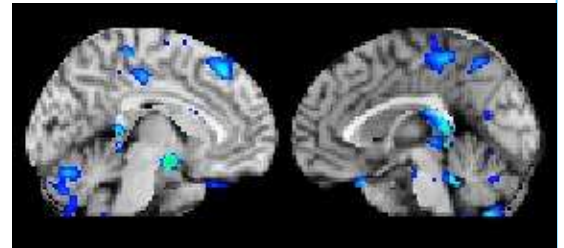
# 最新情報～！

## ～脳の萎縮度をみる検査ができるようになりました～

Q. 脳の萎縮度をみる検査とは何？

A. ヴェイエスラド VSRAD（**早期アルツハイマー病診断支援システム**）といます。

MR I 画像を利用して、この小さな海馬傍回（記憶をする所）の**体積の萎縮度を数値で評価し、萎縮の部分が画像に表示**される検査です。



このように萎縮している部分に色が付き、分かり易いです。

Q. 時間はどれくらいかかるの？

A. 通常のMR I 検査（ルーチン20分）に、5分追加する程度です。

Q. 診察はその日にできますか？

A. データ処理に時間がかかる為、診察は後日になります。  
（結果は用紙でお渡し致します）

Q. 誰でもできるの？

A. 物忘れが気になる、50歳以上の方です。  
（※医師の診察が必要です。）



ヴェイエスラド アドバンス  
当院が導入する VSRAD advance 2 はレビー小体型認知症の鑑別の指標にも用いることができるようになりました。  
佐賀県内で当院が最も早く導入しました。

“検査を受けて安心 みな笑顔” 気になる方はご予約下さい。

## 8月の外来診療予定

カレンダー通りに外来は開けております。  
お盆休みはありません。

